

愛の友協会理事長賞

千葉県／14歳／女性／中学生

うちやま ゆゆか

内山 結々花様

✉手紙の相手：中学一年生の時の担任の先生

お元気ですか。まだあのかわいらしい笑顔は健在ですか。書きたいことは山ほどありますが、またお会いした時に話そうと思います。今回は、私が先生との一年間で一番心に残っている出来事を書きます。

私が目立ちたがりだったのを覚えていますか。前に立って人をまとめることが好きで、そのことを先生が褒めてくれた時は嬉しかったです。合唱コンクールの指揮者に立候補したのも、褒められたいからです。音楽教師である先生に教えてもらえばすぐに上手になれると思っていたのですが、そんなに簡単ではありませんでした。先生は私に、指揮の振り方と強弱のことについて簡単に話してどこかへ行ってしまいました。話している時の目は真剣で、私に試練を与えているのだと分かりました。それに応えたくて、必死に毎日指揮の練習したのを覚えています。強弱の変化を頭の中に叩き込み、

滑らかに手を動かし、手が疲れても一生懸命練習しました。全パートで初めて合唱した日の事は特に鮮明に記憶に残っています。先生と打ち合わせしていたハミングをしようとしても、誰一人声を出さなくて、なぜだろう、と思いました。その時先生は私に「貴女は指揮者でしょう。貴女がみんなに伝えないと誰も分からない。貴女がこの合唱をまとめるのよ」と言いました。その言葉に、私はハツとしました。その日から積極的にアドバイスや提案をするようになりました。この合唱を一番審査員に近い状態で聞けるのは、私しかいないと自覚したんです。本番、震える手で指揮を振った合唱はなんと金賞。ずっと泣いていた先生の涙につられてしまったのはここだけの話。

私は合唱コンクールを通して、先生に大事なことを教えてもらいました。私はこれから、どんな時でも、自分がどのポジションいて、何ができるのかをしっかりと考えて行動できるようにしたいです。私を成長させてくれてありがとうございます。

≫ 手紙への想い ≪

中学校に入って最初の担任であり、私を成長させてくれた恩師への、感謝の想いを書きました。